

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	文学部 ドイツ語圏文化学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 マンハイム大学 文学部独文学科
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年08月01日～2018年07月31日 出国日 2017年07月26日 最終帰国日 2018年6月31日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

目標であった環境問題の授業や現地でのボランティア活動など自分がやりたかったことにすべて挑戦できたと思います。ドイツ語力は、自分が目指しているレベルまでは、まだ到達できていませんが、今後日本でもドイツ語の授業やドイツ人との関りを大事にしてより語学力を伸ばしていけたらと思います。留学前は、世界のニュースや時事問題に興味がありました。今では友達の国や日本の政治などにも興味を持ち、かつニュースを見てうのみにするだけでなく、自分の意見を持ちながら様々な視点で客観視できるようになりました。

また、日本での授業も留学前より知識や経験が多い分、意欲的に参加できていると思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

語学に関しては、どれだけやったところでゴールが見えませんが、日本や海外の政治、ニュース、歴史、についてもっと知識を深めておくべきだと思いました。ディスカッションや授業の中で質問の意味は分かっているけど知識不足のせいで答えることができず、恥ずかしい思いをすることも多々あったので、留学を控えてる皆さんには、言っておきたいことのひとつです。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

正規学生と同じ授業は、本当についていくことが困難でした。毎回、授業は録音して何度も聞くようにしていましたがそれでも難しい内容でした。少しでも理解したいと思い、直接質問しに行くとすべての教授が丁寧に対応してくれてやりがいがありました。

留学生用のドイツ語のクラスは、前期から毎回レベルが上がるにつれて難しくなりましたが、どの先生も友人もとてもやさしく和気あいあいとした雰囲気でした。後期の授業では、日本人はともかくアジア人が私一人で少し不安でしたが、逆に興味を持ってプレゼンや意見を聞いてくれたので勉強意欲が上がりました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

マンハイム大学は昔宮殿として使われていた建物を大学として利用しているため、とてもダイナミックですてきな空間でした。大学の一部は、博物館となっており、昔の様子がうかがえる場所でもあります。また、食堂とカフェがあり、朝やお昼に利用していました。クリスマスには、本物の大きなクリスマスツリーが飾られたり、サッカーワールドカップ 2018 の際は、食堂がパブリックビューイングの会場として使われていたり、様々な楽しみ方ができました。食堂・カフェでは、ビールが売っていて、さすがドイツだと思いました。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

ドイツ語学科の授業では、留学生を対象とした授業 (Propädeutikum) が設けられ、「マンハイムにある国立劇場について」や「ドイツ語における方言」をグループでプレゼンをしました。ドイツ語が第 2、第 3 言語である私たちにとってこの内容をこなすのは、決して容易なことではありませんでしたが、みんなで協力して意見を出し合い議論を進め発表することができました。

語学の授業は、1 コマ 15 ユーロで、留学生用サイトから予約をします。早いもの順なので、どれを受講するか事前に決めておき、5 分前にはパソコンの前にスタンバイしておくことをお勧めします。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

毎週その週にある留学生用のイベントを配信してくれるので、行きたいイベントに行くことができます。毎日のように何かしらのイベントがあるので、毎日充実した日々を送ることができました。例えば、ドイツ語 Stammtisch というドイツ人と会話やゲームをしながらドイツ語を学べたり、インターナショナルパーティーでは、各国の料理を持ち合わせ交流を深めました。正規学生が主催するパーティーでは、夜学校がクラブになり生徒みんなでお祭り騒ぎです。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特になし。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

治安は、あまりいいとは言えませんが、気を付けていれば問題ないと思います。夜間、一人で歩くこともありましたが、特に怖い思いはしませんでした。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

とてもいい環境でした。勉強するときとクラブやパーティーで騒ぐ時と、ON と OFF の切り替えが即座にできる環境でした。それは、正規学生のみんなの雰囲気であり教育環境の違いが垣間見えたとも思いました。日本の大学生も見習うべきだと感じました。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
General language Course	コミュニケーション演習 (上級)
Grammatik	コミュニケーション演習 (上級)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 304 ユーロ、(日本円) 約 39,216 円

(3) 食事

自炊

(4) 大学までの交通手段、所要時間

バス/トラム 計 20 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

悪かった点：ほかの寮より遠いので時間がかかる。

よかった点：スーパーやケバブ屋さんなどが近くにあり買い物が便利。シェアハウスなので、友達がたくさんでき、マンハイム大学以外の学生に出会うことができる。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約、(日本円) 約 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 (日本円) 約 14 万 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 1000 ユーロ、(日本円) 約 12 万 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

クレジットカード / 現金 /

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

クレジットカードは、ヨーロッパを旅行する際に換金する必要がなくとても便利なので、1 枚以上持っていくことをお勧めします。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1) 保険会社名

AOK

(2) 保険料

10,8367 円

(3) 加入した保険の種類、内容

正規学生も入っている 1 番ポピュラーな保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

特になし

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物

(2) 持って行って良かったと思う物

洗濯ネット、ゴム手袋、はし

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

日本食 (マンハイムに大きなアジアンマーケットができたので、そこで食べたいものはそろそろはずです。)、ハンガー

(4) 持って行けば良かったと思う物

ホッカイロ、個包装になっているマスク、ガーグル、生理薬

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

タンデム、バレエ、授業、遊び

(2) 週末

旅行、サッカー観戦、バレエ鑑賞

8. 後輩へのアドバイス等

最初の一、二 か月は、手続き関係の処理がたくさんあり、ストレスがたまると思いますが、それを乗り越えれば一気に楽しくなるはずです。わからないこと、心配なことは遠慮せずにパディーや友達に相談してみてください。一人で抱え込む必要はありません。相談することもドイツ語を使う練習です。もし、質問があればいつでも連絡してください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

この報告書は現在閲覧室のみでしか見ることができませんが、現地で困った際に参考にしたいと思うことが何回かありました。現在留学をしている学生からも、報告書を見せてほしいと依頼がありました。同時期にマンハイム大学に留学していた日本人学生の子は、報告書をインターネットで見ながら、履修を考えたり、手続きを進めていてとても良いシステムだと感じました。インターネット上で留学生だけが報告書を見れる項目を作っただけだと、今後海外に留学なされる学生さんたちも安心だと思います。ぜひご検討をお願いいたします。